

研究課題名	食道 ESD 後狭窄予防に対する PGA シート貼付時の細径内視鏡の有用性の検討
研究の意義・目的	内視鏡的粘膜下層剥離術(以下ESD)は表在型食道癌に対する治療として広く普及しています。切除後潰瘍の周在性が5/6周以上の場合には狭窄を来すリスクがあり、ポリグリコール酸(PGA)シートによる狭窄予防法が行われています。しかし、食道の蠕動や管腔の狭さ、スコープ自身の太さなどの要因により貼付に長時間かかることが問題でありました。これに対して、細径スコープ (XP290N)を用いることで、蠕動などの影響を受けることなくPGAシートを容易に短時間に貼付できるのではないかと考えます。
研究を行う期間	当院倫理委員会承認後～2025年12月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2013年4月1日～2020年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院 消化器内科で、食道 ESD を受けた患者さんのうち術後狭窄予防目的に PGA シート貼付術を受けられた患者さんが対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、検査日、治療日、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、血液検査、内視鏡所見、CT 所見、ESD 所見など】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院 消化器内科のみで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院 消化器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 研究責任者 永見康明
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学 (担当者氏名) 永見 康明、大南 雅揮、河野 光泰 電話番号：06-6645-2316